

事務事業名					担当	清掃センター	
政策名					電話番号	0285-75-0912	
施策名					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 真岡市清掃センター設置条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 21 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	2. 清掃費	2. 塵芥処理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	昭和47年に真岡市と二宮町で組織する、一部事務組合（真岡・二宮地区清掃事務組合）を設立し、翌年二宮町阿部岡に、ごみ焼却場（昭和48年6月竣工 処理能力30t/16h運転）を建設し、両市町のごみ処理を実施していた。しかし急速な産業の発展、人口の増加に伴い、ごみ搬入量が増加し焼却炉の処理能力不足、及び設備（15年間稼働）の老朽化が進み、現在の清掃センターを昭和62年9月に着工し、平成元年12月20日に竣工（処理能力100t/16h運転）した。平成7年度には、リサイクル施設を10月から稼働を開始し、3種9分別18品目の分別収集に対応し、また平成12年度には、ダイオキシン類高度処理設備の改修工事を実施した。また施設の老朽化が進んでいるため、平成19年度に延命措置として、清掃センター整備7ヶ年補修計画を作成し、計画的かつ効率的に実施している。平成21年3月23日には、真岡市と二宮町の合併が有り、前日の22日に真岡・二宮地区清掃事務組合は解散し、真岡市が全ての事務及び財産を継承し、現在に至っている。 平成23年度は、東日本大震災により清掃センター設備（熱交換器）が、被害を受け補正予算 約 2億4千万円で、修理及び搬入ごみの民間委託による処理を実施した。 平成26年3月31日で稼働を停止し、今後のごみ処理は芳賀地区エコステーションで行う。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 26年度実績 ・清掃センターの稼働日数は、248日で23,237t の搬入ごみを処理した。 27年度計画 ・平成25年度で稼働を停止したので、残務処理を実施する。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称						
	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	清掃センター管理運営費	490,382	296,738	279,181		
	イ	ごみ処理稼働日数	278	261	248		
ウ							
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・真岡市民が出す『ごみ』の量 ・真岡市民	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称						
	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	年間総処理量	23,910	23,250	23,420		
	イ	年間焼却量	19,313	19,227	19,644		
ウ	真岡市の人口	82,136	81,511	80,929			
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・トラブル等によって停止した日数 ・円滑な運転管理 ・健全で安定した『ごみ』処理事業の維持 ・排出ガスの環境基準適合率	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称						
	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	ごみ処理稼働日数	278	261	248		
	イ	排出ガスの適合率	100	100	100		
ウ	故障等によって緊急停止した日数	16	6	2			
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・廃棄物の適正な処理	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称						
	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	きれいなまちと感じている市民の割合	70.2	69.7	72.1		
	イ						
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	47,711	1,764	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	117,291	113,236	128,539	0	0
		一般財源	千円	325,380	181,738	150,642	0	0
	事業費計(A)		千円	490,382	296,738	279,181	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	0	0
		延べ業務時間	時間	6,150	6,150	6,150	0	0
		人件費計(B)	千円	26,088	25,842	24,994	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	516,470	322,580	304,175	0	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・昭和46年の真岡市と二宮町は、都市化の進展により、ごみ収集人口の増加と消費生活の向上に伴い、ごみの排出量が急速に増加した。ごみの増加に伴い、ごみ焼却場の建設を、真岡市においては、昭和47年度に、二宮町においては昭和48年度に、それぞれ共通の整備計画がなされていたが、真岡市と二宮町で協議し、効率的にごみ焼却施設の整備を図るため、『真岡・二宮地区清掃事務組合』を設立し、昭和48年6月に二宮町阿部岡に、処理能力30t/16hの焼却場を建設(竣工)した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・一般の『ごみ』量が年々増加し、平成7年度に『ごみ』の分別方法を、3種類、9分別、18品目の分別方法(真岡方式)を採用し、『ごみ』の資源化に力を入れ、ごみの減量化に当たっている。 ・平成26年3月に芳賀地区エコステーションが竣工する。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・一般廃棄物の中間処理は『廃棄物の抑制と適正な処理』に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・ごみ(一般廃棄物)は、市町村の事務であるため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・一般廃棄物処理事業として、事業展開を実施しているため適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・適正な中間処理を実施しているため向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・効率的な中間処理が不可能となるため。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・施設の適正な維持管理を最小限の経費で実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の人数で管理運営をしている
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・搬入ごみの処理については、すべて処理をしているため公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							